

平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 19 年 2 月 2 日

上場会社名 **株式会社 JALUX** (ジャルックス)
(URL <http://www.jalux.com/>)

コード番号 2 7 2 9

東証第 1 部

本社所在都道府県

東京都

代表者 役職名 代表取締役社長
問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長

氏名 岡崎 俊城
氏名 立石 修

TEL (03) 5460 - 7230

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率を用いて計算しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結(新規)3社 持分法(新規)1社 (除外)1社

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績概況(平成 18 年 4 月 1 日~平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	82,399	(3.6)	2,216	(1.5)	2,370	(6.7)
18 年 3 月期第 3 四半期	79,509	(11.2)	2,250	(7.9)	2,541	(15.5)
(参考) 18 年 3 月期	107,952	(9.5)	2,444	(10.8)	3,212	(11.6)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	1,090	(22.0)	85	70	-	-
18 年 3 月期第 3 四半期	1,399	(14.8)	110	04	-	-
(参考) 18 年 3 月期	1,689	(17.7)	132	57	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(参考) 第 3 四半期個別経営成績等の概況(平成 18 年 4 月 1 日~平成 18 年 12 月 31 日)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	74,005	(3.5)	1,523	(12.1)	1,920	(3.7)
18 年 3 月期第 3 四半期	71,472	(10.1)	1,733	(7.7)	1,993	(10.9)
(参考) 18 年 3 月期	97,847	(9.7)	2,167	(7.4)	2,448	(6.8)

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しています。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
19 年 3 月期第 3 四半期	42,439	14,975	33.2	1,103	31
18 年 3 月期第 3 四半期	38,212	12,850	33.6	1,007	01
(参考) 18 年 3 月期	37,563	13,224	35.2	1,036	14

3. 平成 19 年 3 月期の連結業績予想(平成 18 年 4 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	111,000	3,400	1,700

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 133円22銭

平成 18 年 5 月 9 日に発表いたしました当初の業績予想と変更はありません。

上記の予想は、作成時点においての経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

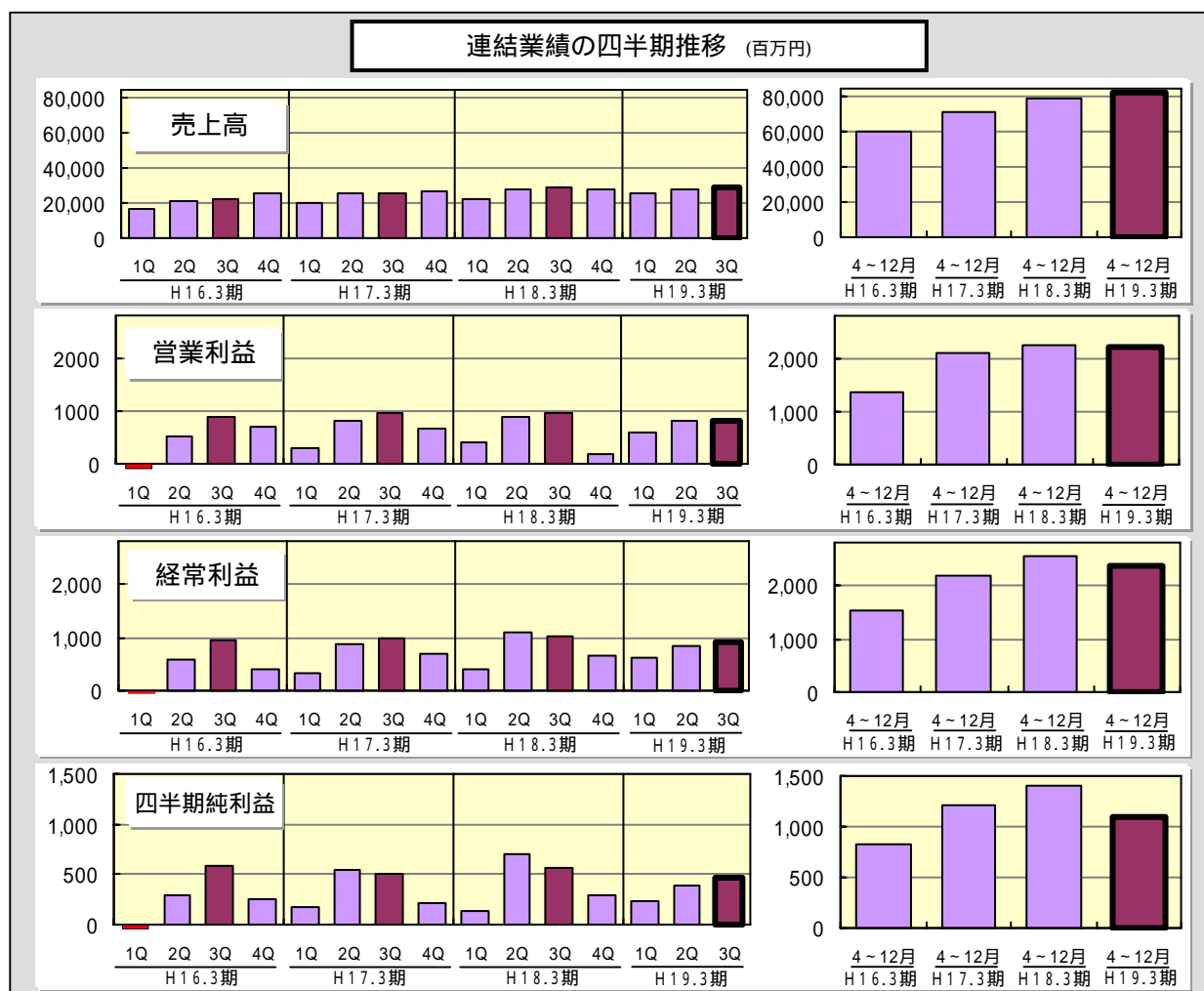
当第3四半期（9ヶ月間累計；平成18年4月1日から12月31日まで）は、一般消費動向など当社を取り巻く事業環境も概ね堅調で、航空関連、生活関連、顧客サービスの各セグメントとも順調に推移いたしました。

特に、航空関連事業では、国内重工業向けの航空機部品の保管供給ビジネスなどで、好調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、「JALパッケージズ」（海外リゾート物件のタイムシェアシステム）の販売サポートや、国内空港周辺不動産の開発・サブリース事業において、取扱件数を拡充し、順調な実績をおさめました。

これらにより、当第3四半期の売上高は82,399百万円と前年同期を上回りました。一方、事務所の一部移転に伴う臨時費用や、事業拡充に伴う人件費、広告宣伝費の増加等に伴い、営業利益は2,216百万円と前年同期を下回りました。また、前年同期には、連結決算上の為替換算差額を営業外収益として計上し、さらに、子会社株式の評価減等による連結税金費用の低減などがございましたが、当第3四半期は特段大きな特殊要素がなかったため、経常利益は2,370百万円、純利益は1,090百万円と、いずれも前年同期を下回りました。

なお、通期業績予想（期初予想）との比較においては、いずれも概ね順調に推移しており、現時点においては平成19年3月期業績予想の修正はございません。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第3四半期（累計） (平成17年4～12月)	当第3四半期（累計） (平成18年4～12月)	前期比(%)	前期差
売上高	79,509	82,399	103.6	2,889
営業利益	2,250	2,216	98.5	34
経常利益	2,541	2,370	93.3	170
四半期純利益	1,399	1,090	78.0	308



当第3四半期のセグメント別の概況

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。なお、各業績数値は、セグメント間売上高または振替高及び配賦不能営業費用を調整前の金額です。

また、当期において企画制作及び商品開発機能の集約による事業の強化・効率化のため、印刷・メディア部門を「生活関連事業」に再編いたしました。これに伴い、前期まで「顧客サービス事業」に含めて表示していた印刷・メディア部門の業績は、「生活関連事業」に含めて表示しています。なお、以下の「生活関連事業」「顧客サービス事業」の前期業績数値は、再編後の新たな区分を基準とした数値に置き換えて表示しています。

航空関連事業

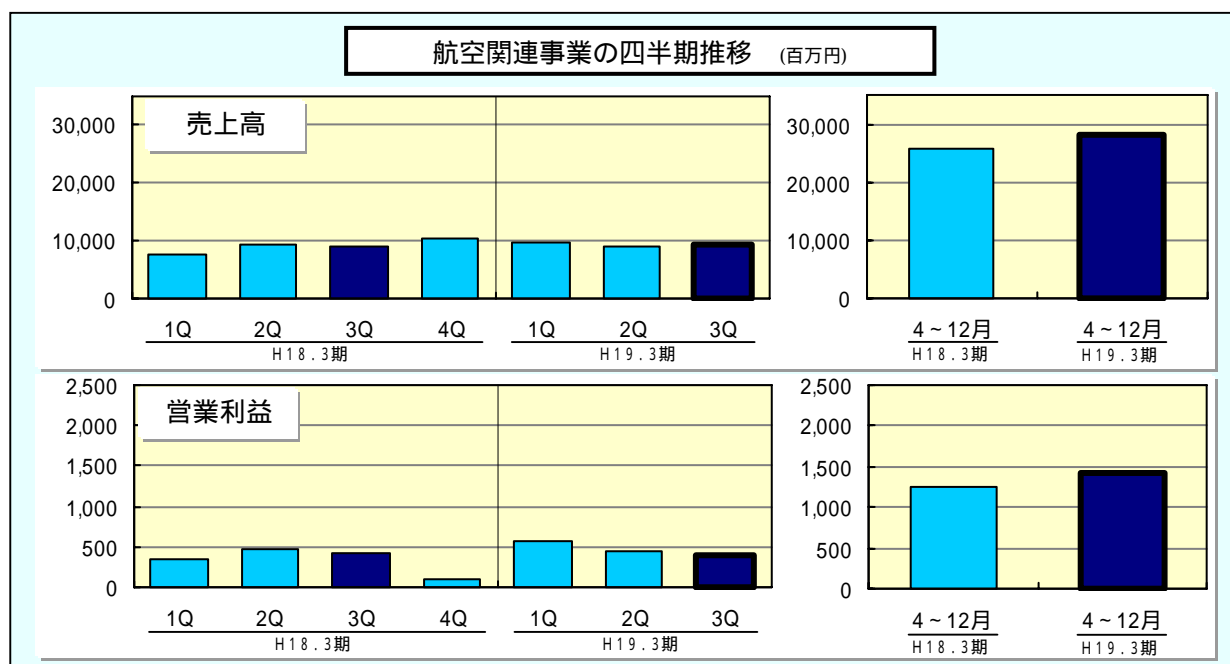
航空機・燃料・機材関連では、平成16年からスタートした、航空機エンジン部品の保管供給ビジネス*において、堅調な需要を背景に、前期に引き続き順調に国内重工業向けの取扱高を拡大いたしました。

* 航空機エンジン修理に必要な輸入部品を保管（在庫・品質管理）し、タイムリーに国内重工業等に納入する供給システム

また、空港用特殊車両や国内免税店向けの免税販売用商品の卸販売、その他、航空機、燃料、制服(繊維用品)の調達事業なども順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高27,982百万円、営業利益1,419百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

航空関連事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成17年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	25,858	27,982	108.2	2,123
営業利益	1,250	1,419	113.5	169



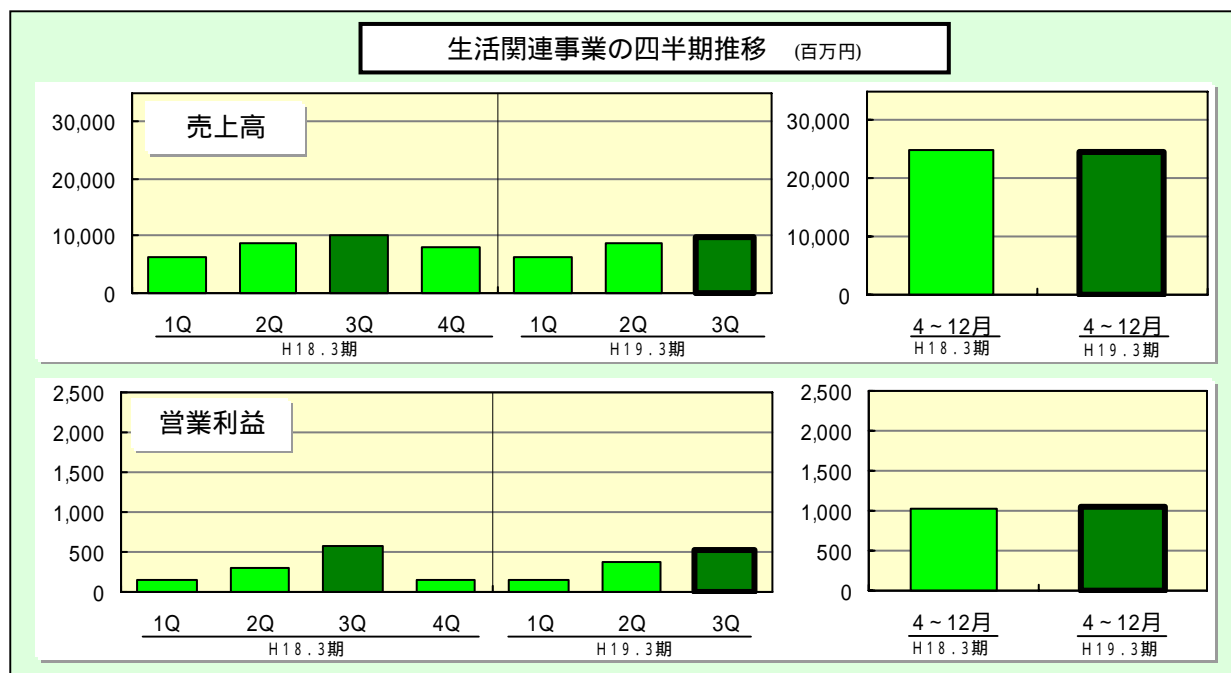
生活関連事業

フーズ・ビバレッジ関連では、冷凍水産物や青果物の輸入販売で、付加価値販売の奏功等により前期に引き続き順調な実績をおさめました。

通信販売関連では、カタログ通販において、航空機内カタログ「JAL SHOP」は、発行月変更の移行措置等により受注が伸び悩み減収となりましたが、DMカタログ「JAL World Shopping Club」や別冊食品カタログ「グルメ・ファーストクラス」などは概ね堅調に推移いたしました。また、システム化の推進などによりコスト効率を高め、収益率の向上に寄与いたしました。

これらの結果、売上高 24,741 百万円、営業利益 1,047 百万円となりました。

生活関連事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成17年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	25,003	24,741	99.0	261
営業利益	1,019	1,047	102.7	27



顧客サービス事業

ライフデザイン関連では、平成16年よりスタートした「JAL バケーションズ^{*}」の販売サポートにおいて、ハワイ、プーケットに加えて、当期より新たにラスベガスの物件の取り扱いなども開始し、ハワイの物件を中心に好調に推移いたしました。また、不動産の開発・サブリース事業では、国内空港周辺における、社宅(寮)開発などにより事業規模を順調に拡充し、収益の底上げに寄与いたしました。

* ハワイなどのリゾート物件の権利を週単位で販売するリゾート共有(タイムシェア)システム

店舗関連では、国内空港店舗「BLUE SKY」は、成田空港店において減収となりましたが、店舗数を拡大した新千歳空港店(7 12店舗)と、前期においてターミナル再編により減収となった羽田空港店において増収増益となるなど、総じて堅調に推移いたしました。

また、成田空港免税店「JAL-DFS」(第2ターミナル)では、平成18年6月のターミナル再編に伴い、期初に3割程度の減収を想定していましたが、顧客単価の向上などもあり、空港(第2ターミナル)利用者数の減少にもかかわらず前年同期に対し若干の減収にとどめることができました。

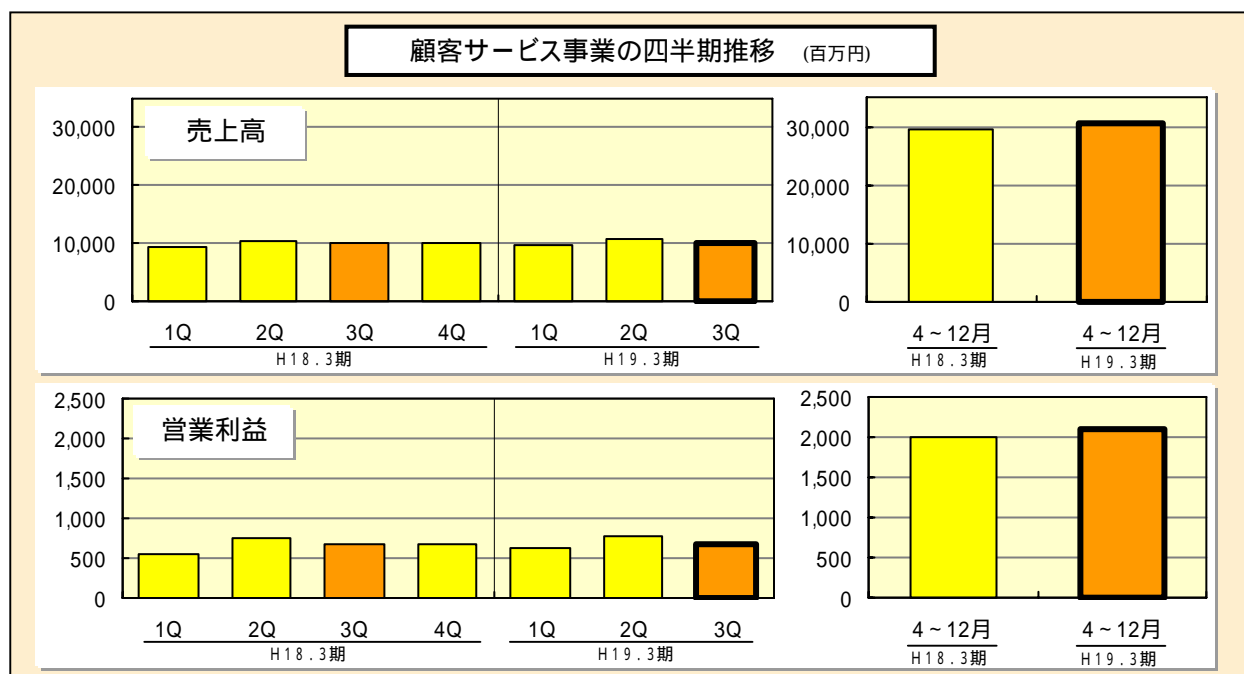
なお、海外事業においては、昭和47年より営業を続けてきたロンドン市内の店舗について、収益の悪化に伴い、期中に撤退を決定し、平成18年12月に「JAL プラザ いぎりす屋」を閉店いたしました。これにより、来期においては当該店舗の営業損失解消に伴う増益が見込まれます。

その他、新規事業分野の1つである厚生分野では、平成16年に開設の介護付有料老人ホーム「JALUX グッドタイムホーム・調布^{*}」に続き、平成18年12月に新たに「JALUX グッドタイムホーム・不動前^{*}」(東京・品川区)をオープンし、事業の拡充をはかりました。

* 持分法適用関連会社(株)JALUXライフデザインが運営

これらの結果、売上高 30,624 百万円、営業利益 2,091 百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

顧客サービス事業 (金額単位:百万円)	前第3四半期(累計) (平成17年4~12月)	当第3四半期(累計) (平成18年4~12月)	前期比(%)	前期差
売上高	29,384	30,624	104.2	1,240
営業利益	1,993	2,091	104.9	97



[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,876百万円増加し、42,439百万円となりました。これは、歳暮用食料品等、年末商戦に伴う営業債権債務の増加が主な原因です。また、販売用不動産の取得や新基幹システムの開発等による支出により、長期及び短期の借入金も増加いたしました。

この結果、自己資本比率は、33.2%となり、前連結会計年度末と比べ2.0ポイント低下いたしました。

(添付資料)

1. 四半期要約連結貸借対照表
2. 同 要約連結損益計算書
3. 同 要約連結株主資本等変動計算書
4. 同 事業の種類別セグメント情報

[添付資料]

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日)		対前期末比	前第3四半期末 (平成17年12月31日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	5,209,694		4,954,081			3,886,483
受取手形及び売掛金	13,141,811		11,376,827			13,396,048
たな卸資産	6,714,872		5,653,412			5,500,653
その他	4,716,748		3,361,652			3,885,408
貸倒引当金	46,808		43,653			30,452
流動資産合計	29,736,318	70.1	25,302,319	67.4	4,433,998	26,638,139
固定資産						
有形固定資産	5,147,632	12.1	5,384,936	14.3		5,275,822
無形固定資産	1,779,949	4.2	1,257,958	3.3		926,956
投資その他の資産						
投資有価証券	2,677,509		2,481,657			2,283,201
長期貸付金	572,934		462,941			492,796
長期差入保証金	1,890,877		1,917,076			1,940,608
その他	741,010		888,839			807,844
貸倒引当金	106,336		132,315			153,047
投資その他の資産合計	5,775,995	13.6	5,618,199	15.0		5,371,403
固定資産合計	12,703,577	29.9	12,261,094	32.6	442,482	11,574,181
資産合計	42,439,895	100.0	37,563,414	100.0	4,876,481	38,212,321
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	13,930,513		11,854,649			12,476,259
短期借入金	4,435,825		2,999,361			3,598,695
未払費用	2,057,609		2,267,168			2,082,635
その他	3,225,401		2,836,011			3,097,150
流動負債合計	23,649,348	55.7	19,957,190	53.2	3,692,158	21,254,740
固定負債						
長期借入金	3,000,989		2,549,370			2,371,750
退職給付引当金	150,013		283,616			310,257
その他	664,069		667,310			589,122
固定負債合計	3,815,072	9.0	3,500,298	9.3	314,773	3,271,130
負債合計	27,464,421	64.7	23,457,489	62.5		24,525,871
(少数株主持分)						
少数株主持分	-		881,358	2.3		836,275
(資本の部)						
資本金	-		2,558,550	6.8		2,558,550
資本剰余金	-		711,363	1.9		711,296
利益剰余金	-		9,992,376	26.6		9,702,203
その他有価証券評価差額金	-		22,663	0.0		15,084
為替換算調整勘定	-		51,101	0.1		127,748
自己株式	-		9,284	0.0		9,211
資本合計	-		13,224,566	35.2		12,850,173
負債、少数株主持分及び資本合計	-		37,563,414	100.0		38,212,321

区分	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度末 (平成18年3月31日)		対前期末比	前第3四半期末 (平成17年12月31日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	2,558,550	6.0	-			-
資本剰余金	711,421	1.7	-			-
利益剰余金	10,800,882	25.5	-			-
自己株式	9,447	0.0	-			-
株主資本合計	14,061,406	33.2	-			-
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	8,470	0.0	-			-
繰延ヘッジ損益	16,302	0.0	-			-
為替換算調整勘定	7,259	0.0	-			-
評価・換算差額等合計	17,513	0.0	-			-
少数株主持分	896,553	2.1	-			-
純資産合計	14,975,474	35.3	-			-
負債、純資産合計	42,439,895	100.0	-			-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		対前年同期比 増減 (千円)	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日) 金額 (千円)
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)		
売上高	82,399,684	100.0	79,509,904	100.0	2,889,780	107,952,007
売上原価	64,256,649	78.0	61,693,178	77.6	2,563,471	84,595,451
売上総利益	18,143,034	22.0	17,816,725	22.4	326,308	23,356,555
販売費及び一般管理費						
給料及び手当	6,039,756		5,904,314			7,906,162
退職給付費用	156,199		162,555			246,246
賃借料	3,581,415		3,527,387			4,689,576
減価償却費	293,180		280,119			374,795
役員退職慰労引当金繰入額	43,092		39,676			52,500
その他	5,812,660		5,651,850			7,642,616
販売費及び一般管理費合計	15,926,303	19.3	15,565,904	19.6	360,399	20,911,898
営業利益	2,216,730	2.7	2,250,821	2.8	34,090	2,444,656
営業外収益						
受取配当金	18,547		13,415			36,556
持分法による投資利益	71,803		62,578			108,864
為替差益	39,049		191,112			583,288
その他	137,886		109,580			149,990
営業外収益合計	267,286	0.3	376,687	0.5	109,401	878,699
営業外費用						
支払利息	89,206		62,085			94,722
その他	24,200		24,401			15,683
営業外費用合計	113,406	0.1	86,487	0.1	26,919	110,405
経常利益	2,370,610	2.9	2,541,021	3.2	170,411	3,212,950
特別利益	30,682	0.0	138,764	0.2	108,082	148,884
特別損失	67,317	0.1	11,137	0.0	56,180	192,073
税金等調整前第3四半期 (当期)純利益	2,333,975	2.8	2,668,649	3.4	334,673	3,169,761
税金費用	1,103,748	1.3	1,129,550	1.4	25,802	1,295,936
少数株主利益	139,288	0.2	140,030	0.2	742	184,584
第3四半期(当期)純利益	1,090,938	1.3	1,399,067	1.8	308,128	1,689,240

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株 主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計		
前期末残高	2,558,550	711,363	9,992,376	9,284	13,253,004	22,663	-	51,101	28,437	881,358	14,105,924
当四半期変動額											
剰余金の配当			306,515		306,515						306,515
当期(四半期)純 利益			1,090,938		1,090,938						1,090,938
自己株式の取得				221	221						221
自己株式の処分		58		51	109						109
持分法適用関連 会社の増加			24,082		24,082						24,082
持分変動による 自己株式の減少				8	8						8
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)						14,193	16,302	43,842	45,951	15,195	61,147
当四半期変動額 合計	-	58	808,506	162	808,401	14,193	16,302	43,842	45,951	15,195	869,549
当期末残高	2,558,550	711,421	10,800,882	9,447	14,061,406	8,470	16,302	7,259	17,513	896,553	14,975,474

4.事業の種類別セグメント情報

前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1.外部顧客に対する売上高	25,210,380	21,002,372	33,297,151	79,509,904	-	79,509,904
2.セグメント間の内部売上高 又は振替高	648,349	53,574	-	701,923	(701,923)	-
計	25,858,729	21,055,946	33,297,151	80,211,827	(701,923)	79,509,904
営業費用	24,608,698	20,400,096	30,939,941	75,948,736	1,310,346	77,259,082
営業利益	1,250,031	655,850	2,357,209	4,263,091	(2,012,270)	2,250,821

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒
【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業.....印刷メディア、ライフデザイン（保険・FP、不動産等）空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第3四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,009,731千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1.外部顧客に対する売上高	27,123,939	24,651,062	30,624,682	82,399,684	-	82,399,684
2.セグメント間の内部売上高 又は振替高	858,710	90,908	-	949,618	(949,618)	-
計	27,982,649	24,741,971	30,624,682	83,349,303	(949,618)	82,399,684
営業費用	26,563,610	23,694,954	28,533,645	78,792,211	1,390,742	80,182,953
営業利益	1,419,038	1,047,016	2,091,036	4,557,092	(2,340,361)	2,216,730

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒
印刷メディア 【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業.....ライフデザイン（保険・FP、不動産等）空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第3四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は2,338,304千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

(追加情報)

当第3四半期では、組織再編に伴い、前第3四半期で顧客サービス事業に計上されていた印刷、メディア用品の金額が生活関連事業に変更されています。この結果、前第3四半期と同様の区分によった場合に比べ、当第3四半期において、顧客サービス事業の売上高は4,151,005千円減少し、営業利益は348,083千円減少しています。一方、生活関連事業の売上高は4,172,545千円増加し、営業利益は348,083千円増加しています。

なお、前第3四半期のセグメント情報を、当第3四半期と同様の区分の方法により区分すると次のとおりになります。

前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1.外部顧客に対する売上高	25,210,380	24,915,368	29,384,155	79,509,904	-	79,509,904
2.セグメント間の内部売上高 又は振替高	648,349	88,262	-	736,611	(736,611)	-
計	25,858,729	25,003,630	29,384,155	80,246,515	(736,611)	79,509,904
営業費用	24,608,698	23,984,505	27,390,219	75,983,424	1,275,658	77,259,082
営業利益	1,250,031	1,019,124	1,993,935	4,263,091	(2,012,270)	2,250,821